

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日立・高萩広域下水道組合	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等					
実施済	(実施類型)	汚水処理施設の統廃合 処理場廃止あり 処理場廃止なし		(取組の概要)	(実施(予定)時期)		
	公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合		特環下水と公共下水との統合	その他	年 月 日
	汚泥処理の共同化	維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)				
実施予定	(取組の効果額)	百万円(年)					
	(取組の効果額内訳)						
検討中	(取組の概要)	汚水の処理については、既に広域化(日立市北部及び高萩市)しているところであるが、茨城県が令和4年度に公表した広域化・共同化計画策定の取組として、行政界を越えた広域化・共同化、汚泥活用方法等について検討している。					
	(検討状況・課題)	行政界を越えた広域化・共同化等については地形特性上、複数のポンプ場施設等が必要となり、事業費が膨大となることや、維持管理の点(費用面)からも現実的でないという結論になった。また、汚泥については県の広域処理に参加しているが、その他の活用方法や受け入れ先の模索について検討している。					